

イエスが行く手に
立って、「おは
よう」と言われた。
マタイ28章9節

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 中 田 輝 次
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869 FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤 木 博 英 社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095(821)2146 FAX 095(821)2148

よきおとずれ

CATHOLIC NAGASAKI MONTHLY
カトリック長崎大司教区報

4月・教皇さまの 意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：原理主義と急進主義
- ②宣教の意向：迫害されるキリスト者
- ③日本教会の意向：対人地雷とクラスター爆弾の禁止

主のご復活、まことにめでとうございます。聖パウロの手紙の冒頭のあいさつにならうて祈ります。「父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和」が皆さんにありますように。

1. 平和は祈り求めるべき神のたまもの

さて、ミサの中で、司式者は「主の祈り」の後、教会共同体を代表して、「いつくしみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い、現代に平和をお与えください。」と、いわば世界平和を祈り、さらに、「わたしは平和をあなたがたに残し、わたしの平和をあなたがたに与える。」という主キリストのことばを受けて、「おことばの通り教会に平和と一致をお与えください。」と、教会の平和を祈り求めます。このようにわたしたちは、ミサの中で世界と教会の平和のために祈っています。平和は、「平和の源である神」(ローマ15・33)からキリストによって得られるたまものだからです(ヨハネ16・33)。

《二〇一〇年復活教書》

「すべての人と平和に暮らさない。」

(ローマ12・18)



大司教 ヨセフ 高見 三 明

なら、世界平和を祈る力も半減するでしょう。

2. 世界平和実現に向けた努力
今年は原爆65周年です。今月下旬に浦上教会の被爆マリア像と共にスペインのゲルニカ巡礼を行います。ゲルニカは、1937年に人類史上最初の空爆を受けた町です。まず教皇さまに被爆マリア像を見ていただき、行く先々で少しでも世界平和をアピールし、祈りたいと

思っています。また5月にはニューヨークの国連本部で核拡散防止条約(NPT)再検討会議が開催されます。たとえ核兵器を減らしたり完全になくしたりしたとしても、必ずしも世界平和が実現するとは限りません。しかし、自分たちの住む世界の平和を願うのは当然なことであり、武力による争いや戦争の原因と脅威を世界規模で取り除く努力は平和実現のために必要不可欠な条件です。

3. まずは心の平和と周囲の人々との平和を

わたしたちは、世界平和のために祈るだけでなく、自分自身の心の平和と周囲の人々との平和な関係をつくらなければなりません。これこそ世界平和の実現につながるからです。周囲の人たちと平和をつくれな

係に当てはまります。

この平和を打ち壊すものは、聖霊に逆らい、人間の欲にまかせた行いです。聖パウロはそれを「闇の行い」とあるいは「肉の業」と言っています。「闇の行い」とは、「酒宴と酩酊、淫乱と好色、争いとねたみ」(ローマ13・13)です。「肉の業」も同じく、「姦淫、わいせつ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、怒り、利己心、不和、仲間争い、ねたみ、泥酔、酒宴、その他このたぐいのもの」(ガラテヤ5・19-21)です。

しかし、わたしたちは、洗礼を受けて神の子とされ、「わたしたちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得て」(ローマ5・1)います。そして、主キリストから、「平和をつくる人は神の子と呼ばれる」と教えられ(マタイ5・9参照)、「互いに愛し合いなさい。」(ヨハネ15・12)と命じられています。

従って、平和をつくり出す者としてのキリスト者の責任と召命は重大であり、平和をつくる働きは神の民一人ひとりに与えられた生涯をかけた使命です(日・ナウエン)。

この使命は、まずは自分の心の中と、周囲の人々との間で果たされるべきです。キリストの平和がわたしたちの心を支配するようにしなければなりません(コロサイ3・15参照)。

十字架上でご自分のいのちを与えることによって人々の間の敵意を滅ぼし、神と人、人と人との和解させた主キリストこそわたしたちの平和だからです(エフェソ2・14-16、コロサイ1・20参照)。神に逆らい、互いに争うわたしたちをゆるすために、その限りない愛をもつてご自分を与えられた柔和で謙遜なキリストが、「互いに平和に過ごさない。」(マルコ9・50)と言われます。すべての人と平和な関係をつくるよう努めましょう(ヘブライ12・14参照)。そうすれば、愛と平和の神がわたしたちと共にいてくださいます(2コリント13・11参照)。

人事異動・任命

4月

() 内は前任地。

▼教区(4月18日着任、*は4月11日着任)
山内 実師 *札幌教区・函館「旭ヶ岡の家」付司祭
(教区会計・法人事務所長、司祭医療保険・引退司祭担当)

岩村 知彦師 田平主任(鯛ノ浦主任)
島山 邦夫師 鯛ノ浦主任(田平主任)
下窄 英知師 *教区会計・法人事務所長、司祭医療保険・引退司祭担当、カトリックセンターおよび大司教館館長、広報委員長(カトリック中央協議会)

中田 輝次師 浜串主任(馬込主任兼広報委員長)

岡 秋美師 馬込主任(浜串主任)

松永 正勝師 太田尾主任(土井ノ浦主任)

鶴崎 伸也師 土井ノ浦主任(太田尾主任)

鶴巻 健二師 中町助任(教区本部事務局付)

谷脇誠一郎師 ローマ留学(中町助任)

中尾 直通師 浦上助任、カトリックセンター居住(新司祭) ※センター居住は8月まで

▼イエズス会

大木章次郎師 長崎26聖人修道院

▼オプス・デイ

木村 昌平師 大分・由布見アカデミー

▼コンベンツアル聖フランシスコ修道会

西本 仁史師 聖母の騎士修道院付

▼教区組織 新任務(4月1日付)

山脇 守師 教会奉仕者等養成部部長

紙崎 新一師 福音化推進部部長

長崎北地区連合婦人会議室のお知らせ

【内容】
1部 講話「コルベ神父とマリア様」 濱田盛雄
師(コンベンツアル聖フランシスコ修道会)
2部 講話「聖母マリア」 岡 立子修道女(聖母の騎士修道女会)
3部 ミサ



信仰養成講座修了式

教区生涯養成委員会・みことば友の会主催による要理教師2級資格証書、信仰養成講座修了証書授与式が3月7日、カトリックセンターで行われた。

みことばの祭儀の中で高見大司教は「神のみことばをこれからもしっかりと受け止め、みことばの力に信頼して頑張ってください」と励ました。会式では、修了者一人一人が世を照らす光のシンボルとしてロウソクを奉獻(写真)。代表者が「ともに学ぶ仲間は心強いものでした。少しでも主のみことばを伝える努力をしたいと思います」と決意を述べた。

要理教師2級資格取得者

岩崎静一(香焼) 江川 愛(長崎純心聖母会) 北村 央(同)坂下幸子(同)

修了者

高橋美保(同) 竹中美月(長与) 山口和彦(大浦) 山口久江(同) 山下靖子(長与)

聖和女子学院を長崎大司教区が支援

学校法人聖和女子学院

江袋教会が復旧 地元信徒と落成・献堂式

2007年2月に火災で焼損した仲知小教区江袋教会の落成・献堂式と祝賀会が、5月9日に行われる。高見三明大司教の司式で江袋教会の信徒を中心に、上五島地区司祭団・信徒代表が共に祈りすることになっている。祝賀会は関係者を招き、新上五島町石油備蓄記念会館で開かれる。

天使のお告げに答えたマリアの言葉

「わたしは主のはためです。お言葉どおり、この身に成りますように」(ルカ1:38)。単純明快な答えの中に、主に對する尊敬と従順の完全な姿が示されている。マリアの答えをすばらしいと思いつつも、簡単ではないよなあと今さらのように声に出してしまふ▼長崎教区内の異動は、女子修道会から先に始まる。そのあとに司祭の異動が続く。時には自分自身の異動が決まっているのに、修道女たちを見送ったり、迎えたりしなければならぬ。この修道女たちも、「お言葉どおり、この身に成りますように」と自分に言い聞かせているのだろ

うなあとと思うと、最近胸が詰まる▼公表の日が明示されているけれども、どうしても伝えるべき一人にだけは心の準備をしておらうたほうがよいと判断して、自分は異動するのだと伝えた。腰を抜かしていた。しかし、その人はやつの思いでこうわたしに返事した。「み言葉どおりに成りますように」。小教区のために、たいしたことでもなかった主任司祭だったが、愛されていたことがよく分かった▼マリアも、一言だけは天使に尋ねている。わたしも、一言だけは尋ねてみた。返事も受け取った。そしてこう理解した。「司祭は、愛される場所に、いつも派遣されていくものだ」と。だから司祭は、後ろを振り返らず、新しい任地に出かけて行く。

今回、広報委員の方から、25年前にご逝去されたノルベルト赤尾孝信師への追悼を含めた原稿を依頼された。師の逝去の際、私は弱冠10歳であり、記憶もおぼろげであるが、今なお鮮やかに心に残る「光」をここに記したい。

私は物心つく前から、家族と共にミサに参加していた。それは毎日の「朝飯前」に行われる、当然の出来事であった。ミサの中で、司祭がパンを掲げる場面が深く印象に残っている。その様はパンから後光が射すというか、幼い私の目にはとにかく神秘的で、かつ感動的な瞬間であった。また、境内において神父様方が幼い私に大変優しく接してくださったので、司祭職への憧れを持ったのは自然の理であった気がする。

司祭になるための第一歩として、侍者を始めた。強制されたわけでもないのに、毎日毎日、朝5時半に教会へ行く生活が始まった。1年のうち、朝のミサがないのは聖週間の3日間だけだったが、ゆつくりと寝られることが楽しみとは思わなかった。ただ、毎晩の就寝時間が夜9時だったので、友達とテレビの話題が合わず苦しかったことは覚えてい

あの日から25年。私は神言会の司祭として名古屋で活動している。帰省のたびに、主任司祭のご配慮で、浦上の祭壇に立たせてもらっている。赤尾師は5カ月間の司祭生活の中で、境内や説教台から何を伝えられたのであろうか。どのようなまなざしで信徒を見つめられていたのであろうか。

私にとって浦上の説教台は特別である。侍者として毎日、側に立ち続けてはいたものの、叙階後に初めて「神の言葉を語るために」許された特別な場所。無心で説教台に臨む時、いつも言葉が自然と口から溢れ出る。先輩司祭、信徒の方々の励ましと信仰の霊が私の口を開いてくれる気がする。もちろん、赤尾師も背後から、にこやかに微笑みながら「二粒の麦が地に落ちて死ねば多くの実を結ぶ(ヨハネ12:24)」

赤尾師により、私の中で受肉化された聖書の言葉である。

米国大統領に 3月に行われる貴国の核政策の指針、「核戦略体制の見直し(NPR)」において勇氣ある決断を、指導力を発揮するよう。核兵器廃絶に向けて、核兵器保有の目的を他者による核兵器使用の抑止のみに限定する、いわゆる「唯一の目的(Sole Purpose)」に決定していただきたい。

長崎大司教区高見三明大司教と広島教区三末篤實司教は、連名で米大統領と日本政府に 米国の核兵器削減政策に対する賛同にとどまることなく、今後日本が核廃絶に向けて何をやるのかを表明し、それを実行に移すように。

世界の国の指導者に すべての方が望む、愛と信頼のうちに互いに助け合い、誰もが人間らしく生きることができる世界の実現に向かうように。

長崎教区本部は、教区長による核兵器廃絶に向けての要請文提出を受け、署名活動を行うことを決めた。各小教区や街頭での協力をお願いしたい。(教区本部事務局長)

「司祭が司祭であるために」⑩

司祭年 連載企画

赤尾師が 残されたもの

神言修道会司祭 山田 利彦

日(聖ヨセフ)のいずれかの平日に叙階式が行われていて、その日は「学校を休んで」式に参加していた。この1日の欠席だけで毎年「皆勤賞」を逃していたのも、今となつては良い思い出である。そして、私が小学5年生となった1985年、赤尾師が司祭叙階され、

しかし、この楽しい時間がまさか5カ月弱で終わるとは夢にも思わなかった。いや、あまりにも儚すぎて、夢と思うだけで毎年「皆勤賞」を逃していたのも、今となつては良い思い出である。そして、私が小学5年生となった1985年、赤尾師が司祭叙階され、

子どもが潮に流された。神学生と救助に向かい、子どもたちは助かったものの、同師は波にのまれて死亡。司祭叙階から5カ月足らず、8月12日のことだった。享年26歳。

司祭叙階を前に「キリストと共に働きたい」と題する

19人が修了した。昨年の修了者も合わせ延べ104人が「共に歩む旅」について学んでおり、今後は学んだことをそれぞれの場で生かすことが望まれる。現在、修了者有志による「エマオの会」も

月に1回集まりを持って交流を深めている。

もう1人の銀祝司祭をしのんで

赤尾孝信師は、1985年3月19日に司祭叙階の恵みを受け、浦上教会に助任司祭として着任した。サマーキャンプで教会の子どもたちを故郷(浦頭教会出身)の五島に引率し、海水浴場で一緒に泳いでいた時、数人

子どもが潮に流された。神学生と救助に向かい、子どもたちは助かったものの、同師は波にのまれて死亡。司祭叙階から5カ月足らず、8月12日のことだった。享年26歳。

司祭叙階を前に「キリストと共に働きたい」と題する

19人が修了した。昨年の修了者も合わせ延べ104人が「共に歩む旅」について学んでおり、今後は学んだことをそれぞれの場で生かすことが望まれる。現在、修了者有志による「エマオの会」も

月に1回集まりを持って交流を深めている。

第7回聖書愛読マラソン大会、期間終了

第7回聖書愛読マラソン大会、期間終了

第7回聖書愛読マラソン大会、期間終了

第7回聖書愛読マラソン大会、期間終了

お告げのマリヤ 修道会誓願式

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

お告げのマリヤ 修道会誓願式

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

3月6日、長崎市長原の本部聖堂で、高見三明大司教司式により終生誓願式が行われた。

被爆地ヒロシマ・ナガサキの司教からの要請 核兵器廃絶に向けて勇氣ある一歩を

長崎大司教区高見三明大司教と広島教区三末篤實司教は、連名で米大統領と日本政府に 米国の核兵器削減政策に対する賛同にとどまることなく、今後日本が核廃絶に向けて何をやるのかを表明し、それを実行に移すように。

世界の国の指導者に すべての方が望む、愛と信頼のうちに互いに助け合い、誰もが人間らしく生きることができる世界の実現に向かうように。

長崎教区本部は、教区長による核兵器廃絶に向けての要請文提出を受け、署名活動を行うことを決めた。各小教区や街頭での協力をお願いしたい。(教区本部事務局長)

長崎大司教区高見三明大司教と広島教区三末篤實司教は、連名で米大統領と日本政府に 米国の核兵器削減政策に対する賛同にとどまることなく、今後日本が核廃絶に向けて何をやるのかを表明し、それを実行に移すように。

世界の国の指導者に すべての方が望む、愛と信頼のうちに互いに助け合い、誰もが人間らしく生きることができる世界の実現に向かうように。

米国大統領に 3月に行われる貴国の核政策の指針、「核戦略体制の見直し(NPR)」において勇氣ある決断を、指導力を発揮するよう。核兵器廃絶に向けて、核兵器保有の目的を他者による核兵器使用の抑止のみに限定する、いわゆる「唯一の目的(Sole Purpose)」に決定していただきたい。

長崎大司教区高見三明大司教と広島教区三末篤實司教は、連名で米大統領と日本政府に 米国の核兵器削減政策に対する賛同にとどまることなく、今後日本が核廃絶に向けて何をやるのかを表明し、それを実行に移すように。

世界の国の指導者に すべての方が望む、愛と信頼のうちに互いに助け合い、誰もが人間らしく生きることができる世界の実現に向かうように。

長崎教区本部は、教区長による核兵器廃絶に向けての要請文提出を受け、署名活動を行うことを決めた。各小教区や街頭での協力をお願いしたい。(教区本部事務局長)

長崎大司教区高見三明大司教と広島教区三末篤實司教は、連名で米大統領と日本政府に 米国の核兵器削減政策に対する賛同にとどまることなく、今後日本が核廃絶に向けて何をやるのかを表明し、それを実行に移すように。

世界の国の指導者に すべての方が望む、愛と信頼のうちに互いに助け合い、誰もが人間らしく生きることができる世界の実現に向かうように。

第1回コンクール 長崎写真審査結果

長崎の教会群と関連遺産の世界遺産登録実現をこのように意図で企画された「第1回長崎写真コンクール」の審査結果が次の通り決まった。

最優秀賞(長崎の教会部)

各小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選んで読むことにより「聖書に親しむ」を目的に昨年10月4日から実施されてき

各小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選んで読むことにより「聖書に親しむ」を目的に昨年10月4日から実施されてき

各小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選んで読むことにより「聖書に親しむ」を目的に昨年10月4日から実施されてき

最優秀賞(長崎の教会部)

各小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選んで読むことにより「聖書に親しむ」を目的に昨年10月4日から実施されてき

各小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選んで読むことにより「聖書に親しむ」を目的に昨年10月4日から実施されてき

各小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選んで読むことにより「聖書に親しむ」を目的に昨年10月4日から実施されてき

各小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選んで読むことにより「聖書に親しむ」を目的に昨年10月4日から実施されてき

各小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選んで読むことにより「聖書に親しむ」を目的に昨年10月4日から実施されてき

最優秀賞(長崎の教会部)

各小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選んで読むことにより「聖書に親しむ」を目的に昨年10月4日から実施されてき

各小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選んで読むことにより「聖書に親しむ」を目的に昨年10月4日から実施されてき

各小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選んで読むことにより「聖書に親しむ」を目的に昨年10月4日から実施されてき

各小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選んで読むことにより「聖書に親しむ」を目的に昨年10月4日から実施されてき

各小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選んで読むことにより「聖書に親しむ」を目的に昨年10月4日から実施されてき

長崎カトリック中央墓園

長崎カトリック中央墓園

永井博士の墓前で「平和」を誓う 60 年前訪ねた旧大川中修学旅行生

永井隆博士が眠る長崎市国際墓地に 2 月 25 日、男女 10 余人が訪れ、墓前に果物をさげた後、代表者が追悼の言葉を読み上げた。

この人たちは 1950 年 2 月、卒業を前に修学旅行で長崎を訪れた伊万里市の旧大川中学校の 3 年生。60 年前にさかの



ぼると、長崎入りした 150 人の生徒は「如己堂」の永井先生を見舞い、伊万里名産の梨を差し上げたことが縁で今回、博士の墓を訪ねた。墓地訪問は 3 回目。



卒業生の話によると、先生からは病床を見舞ったお礼に「大川の野山はみねど梨の実の甘きに想

うゆたかなる里」と自筆の短歌と梨の絵を描いた色紙が届き生徒たちを喜ばせた。先生はその翌年、天国へ召されている。色紙は地元公民館に保管されている。

博士の墓前に立った田代久弥さん(75)は追悼の言葉で「伊万里梨発祥 100 年の記念碑に先生

の短歌を挿入しました。また、先生が最後まで言い続けられていた、原爆は地球上で長崎が最後であってほしいとの言葉と、オバマ米大統領の「核

教皇ベネディクト 16 世 世界平和の日メッセージ講演

教皇ベネディクト 16 世が発表した「世界平和の日(1 月 1 日)」メッセージを解説する講演会が、2 月 28 日長崎信愛幼稚園で開かれ、200 人超が集まった。教区正義と平和推進部会主催。



教皇は「平和を築くことを望むなら、被造物を守りなさい」と呼び掛けている。講師の高見大司



戦後 65 年 からの種・パン種

永井博士と平和

水浦征男

長崎と戦後を考えるとき、思い浮かべるのは浦上の原子野で、病臥しながら平和を祈ったパウロ永井博士の姿だ。永井さんは「平和を」という 3 文字を半紙に墨書し、約千人に配ったと伝えられる。永井さんは、戦争の悲惨さを身をもって体験した。日華事変に従軍し、多くの戦争被害者を見た。1945 年 8 月 9 日、長崎医科大学放射線科の研究室で原子爆弾の直撃を受け、一命をとりとめる。壊された大学の建物の窓ガラス破片で顔面に



1941 年神戸市生まれ、五島育ち。81 年、教皇来日時、広報担当、85 年から聖母の騎士社編集長を務める。09 年 4 月から西宮・仁川教会主任司祭。

重傷を負いながらも、被爆者の救護活動に専念した。愛する妻、みどり夫人は帰らぬ人となった。永井さんは原爆から数日後に、自宅のあった場所に行き、台所付近でみどり夫人の焼けただれた口ザリオを見つめる。焼け跡から夫人のお骨を拾い、バケツに入れて持ち

病室に倒れても、その「これですよ、これですよ」と言いつ、手に口ザリオを掲げて見せたという。永井さんは終戦直後、みどり夫人の喪に服していたころ、撮った写真がある。和服姿の永井さん

病苦をものともせず、降りかかっていた災難をユーモアをもって受け止めて、見舞いに訪れる人々を、逆に励ました。これは、並みの人にできることではない。永井さんの言動は深い信仰に裏付けられていた。

昭和 10 年ごろ、永井さんは聖母の騎士修道院を訪ねて、初めてマキシミリアノ・コルベ神父に会った。この言葉は後に物議を醸したが、信仰の人、永井さんにとって、摂理と



「平和を」と題する短いエッセイの中に永井さんは、こう書いている。「平和を」と題する短いエッセイの中に永井さんは、こう書いている。

家庭の黙想会

バチカン家庭評議会委員夫妻を招く

2 月 28 日(日)、バチカン家庭評議会委員アルベルト・フリーゾ、アンナ・フリーゾ夫妻を招き、教区家庭福音化担当主



今回の、家庭の危機が語られる今、夫婦間、親子間のコミュニケーションが重要であることか

され、午後は、グループ別対話の時間があり、深い分かち合いのひとときとなった。また、質疑応答では、夫婦の具体的な対話方法、子どもの宗教、性教育、異結婚の問題などの質問があり、家庭生

活に示唆を与える機会となった。黙想会最後は、高見大司教司式による感謝ミサ

教区広報委員長 第 11 代教区報編集長 下窄 英知神父



長崎から全世界に発信した一昨年の 188 殉教者の列福式。国内外のマスコミ約 50 社の窓口総括責任者を務めた。難問も飛び込んだが、司教協議会と調整、中央協議会広報部一丸となって乗り切る。

「長崎にはキリシタンの歴史と被爆の歴史があり、教会の立場か

の関係を、どこも同じような課題を抱えており、変わらんなあ、というのが実感です」――8 年間の東京生活振り返った。

5 月には、県と新上五島町の支援を受け復旧工

ら福音的平和を日本と全世界に発信する固有の使命を持つています。東京と長崎の違いは特に見られず、司祭と信徒、信徒同士、司祭同士、司教と司祭

事は「熱いものを持ちながら冷静でもあり、その人の良さが生かされるように、また全体としてもよくなるように、それを念頭において判断・行動

僚は「熱いものを持ちながら冷静でもあり、その人の良さが生かされるように、また全体としてもよくなるように、それを念頭において判断・行動

祖は「熱いものを持ちながら冷静でもあり、その人の良さが生かされるように、また全体としてもよくなるように、それを念頭において判断・行動

ガイドスクーリング マスターコース開催

長崎巡礼センターは、各地の「ながさき巡礼」



通してキリスト教概論、デルカ・レンゾ神父(イエズス会、日本 26 聖人記念館館長)に史料を通して日本のキリスト教史、シスター片岡瑠美子(長崎純心聖母会、写真)には教会堂を通して西洋のキリスト教史、中園成生氏(生月町資料館「島の館」学芸員)にカクレキリシタンの信仰について講義をしてもらい、最終日には、松川隆治氏の海外の潜伏時代からのキリシタン史跡などの調査経過報告、参加者による意見交換会を行った。

講義を通して、日本人が世界と共に生きていたこと、宗教は頼るものではなく、生きる道を示唆するものであることなどを教えられた。知識だけでなく心を伝えることが「ながさき巡礼」であると、それぞれが感じた時間となった。



観光客が絶えない長崎・南山手町

被爆マリア像

ゲルニカへの旅立ち前に
像の寄進者分かる
長崎に眠る元スペイン大使

被爆前のマリ
ア像、浦上天主
堂に誰が寄進したか、分
からなかったが、2月号
「よきおとずれ」被爆マ
リア像、4月にスペイン・
ゲルニカへの記事を読
んだ長崎市若草町に住む
田川照子さんから次のよ
うな投稿があり、寄進者



被爆マリア像



田川さんの話による
と、母(リキさん)浦上駅
前で「富貴屋」旅館経営
「写真」が生前、浦上天
主堂内で、ウリバリさん
がスペインから取り寄せ
たマリア像はそれよ、と
祭壇の上面に掲げてあっ
た像を指差したのを覚え
ている。

ウリバリさんとは、エス



パニア(現在のスペイン)
の全権大使(全権の委任
状を持ち国家を代表して
派遣される委員)で明治

から大正にかけ東京で働
かれていたドン・ラミロ
ヒル・デ・ウリバリさん。
ウリバリさんは職を辞し

た後、大使時代、世話係を
していた浦上出身の田川
さんの親せきになる娘さ
んを頼り、長崎に居を求
め生活されていた。
ウリバリさんと田川リ
キさんの交流(夫人を
亡くされ、2人の子とも
さんが戦死、身寄りがな
いことから、親族の娘さ
んを通して交流が続き、
大使死後の埋葬は田川
家親族の世話で長崎市石
神町の「こうらんば」墓
地に手厚く葬られてい
る。熱心なカトリック者

だった。
初代の浦上天主堂建立
は、1914年(大正
3) 未完成のまま献堂式
を行っている。(教区司牧
室発行の「長崎の教会」
ウリバリさんの死亡は
1921年(大正10) 11
月14日。マリア像の寄進
は1914年(大正3)
1921年(大正10)
代と推定され、また、マリ
ア像の取り寄せ先はイタ
リアからの定説だが、
長崎教区報1937年
(昭和12) 8月号に「一

スペイン渡来の木像」と
いった記事も見られ、田
川さんの証言と一致す
る。被爆マリア像は初め
ての「里帰り」となる。(写
真はウリバリさんの墓碑
田川さん提供)

教区連合婦人会
創立30周年記念講演

2月27日カ
トリックセン
ターで、教区連
合婦人会創立
30周年記念講
演「輝くいの
ちを見つめ、と
もに歩むには
」が熊本市・
慈恵病院看護
部長の田尻由
貴子氏を講師
に招いて開催された。
設立時、社会に大きな
波紋を投じた同病院の
「こののりのゆりかご



田尻氏

2007年5月に運用を
開始した。講師は、命に
ついて、命が救われた事例
を交えながら温かな口調
で1時間半を一気に語り、



山内師

約300人が集まった会
場は時にすすり泣き、時
に笑いの声に包まれた。
講演後、婦人会指導司祭
の山内実師は、講師に感
謝を述べるとともに、講
演を多くの方にぜひ聴い
ていただき、そして自分
のこととして考えていた
きたいと呼び掛けた。
翌28日、佐世保・俵町



教会では200余人が聴
き入った。講演会は今後、
6月12日(土)15時半〜アル
カディア大村(長崎北)
6月13日(日)13時半〜田平

教会(平戸) 6月26日(土)
15時半〜福江教会(下五
島) 6月27日(日)13時半〜
青方教会(上五島)で行
われる。

南米チリ地震に100万円
評議会、募金から支出

教区評議会は2月27日
に起きた南米チリ中部地
震の災害支援に、一葉募
金から100万円を送金
することを決めた。ルー
トなどが決まり次第、手
続きをとる。

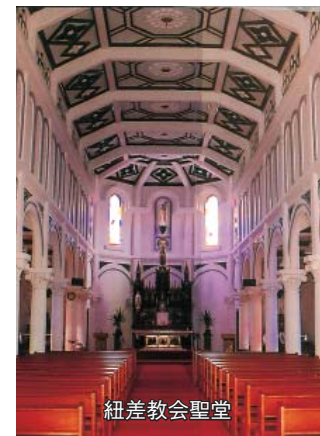
ハイチから被災地の
写真届く

3月号「よきおとずれ」
でハイチ地震の支援を訴
えたが、このほどハイチに
派遣されているレデンプ
トリスチン長崎修道院の
修道女から現地の写真が
愛宕教会を通して教区本
部へ寄せられた。写真の
1コマ目が食糧が不足
食べ物を求めて手を差し

県の文化財に
紐差教会など指定

長崎県教育委員会は3
月5日、

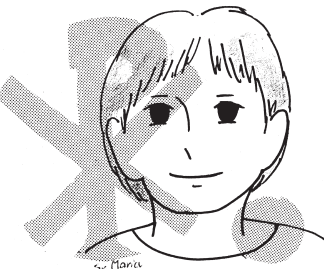
県文化財
審議会の
答申を受
け紐差教
会など5
件を県の
文化財に
指定した。



紐差教会聖堂

文化財は370件とな
る。建造物では出津、大
野、旧野首、堂崎、江上、
頭ヶ島、大野教会などが
県指定文化財となっ
ている。

みことばにふれて

お告げのマリア修道会
赤窄須美子修道女

赤窄須美子

イエスさまだ！と
わかったとき、二人の弟
子がどんなにうれしかっ
たかわかりますか？
すっかり元気になった
二人は、暗くなった夜道
を、飛ぶように走って、
仲間のお弟子さんたちに
教えに行きました。その
ビッグニュースを早く仲
間に伝えたかったのです。

は、だいききな、尊敬し
ているお父さんが、突然
いなくなったのと同じよ
うなものでした。だから、
イエスさまが死んでし

まったことで、がっかり
して希望をなくした人た
ち、立ち上がれないほど
悲しい人たちを励まして
元気にするためでした。
このときもイエスさまは
歩いている二人に、そつ
と近寄って道連れになり、
二人の話を聞きながら、
少しずつ二人の心を楽に
してあげたのです。

いよいよ夕食になりま
した。イエスさまが食前
の祈りをしてパンを裂い
たとき、二人の弟子は最
後の晩餐を思い出し、イ
エスさまとわかったの
です。二人の喜びは爆発
し、すっかり元気になり

ました。
だいききなイエスさま
が生きていて、わたしと
いっしょにいてくださ
る。そう心の底からわか
ることが、元気の源です。
でも、とっても不思議
ですよ。二人の弟子は
イエスさまと、ずっとお
しゃべりしながら歩いた
のに、どうしてイエスさ
まだと気づかなかったの
でしょう。
なぜかわかりません
が、イエスさまは今も、
わたしのそばに、思いが
けない姿でいてくださる
のかもしれないね。

雑学投稿

S. S (福岡)

皆さん、ミサという漢字をご存知ですか。わたしは、一昨年、下五島巡礼の折、キリシタン史料館に展示してある古文書の中に縦書きの毛筆で弥撒典禮書と表紙に書かれているのを見てこの当時から弥撒(ミサ)という漢字が用いられていたのだなあと感じました。そこで「広辞苑」をひもといて見ました。

ミサ (missa ラテン弥撒)

- ①ローマカトリック教会で聖体と聖血の拝領を中心しに神に感謝し、共同体的一致を深める儀式。他の教会の聖餐(せいさん)式に当たる。ミサ聖祭。
- ②ミサ曲、キリエレイソン(主よ憐れみ給え)、グロリア(栄光)、クレド(われは信ず)、サンクトゥス(聖なるかな)、アニヌスデイ(神の子羊)などからなる。

聖餐式

イエスが最後の晩餐でパンとブドウ酒をとり、これがわたしの体である、血である、と言ったことに基づき、イエスの血と肉とを象徴する儀式。カトリックでは聖体の秘跡ともいう。



主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二
長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011
24時間営業 FAX(095)843-9896

墓地改修・新設 個人のご相談も承ります

実績 城山教会墓地 飽の浦教会墓地
浜串教会墓地 青砂ヶ浦教会墓地 他 多数
(有)長崎大理石 社長 ヨハネ 濱本直行
本社 長崎市つつじが丘5-1-15 (TEL)095-839-0374
加工工場 諫早中核工業団地

聖地 上五島のカトリック教会 巡礼ツアーへのお誘い
～青砂ヶ浦教会 献堂100周年記念～

長崎港発着 10 教会巡礼2日間 お1人 28,000円

旧野首教会、青砂ヶ浦教会、頭ヶ島教会、他

【出発日】4月23.5月23.6月5.7月17.31.8月7.22

〈集合〉大波止待合室 12:30

※添乗員同行。往復、高速船利用。食事(朝1 昼1 夕1)付き。

お宿はグループ別に個室提供。＜夕食は・海の幸会席料理＞

佐世保港発着 10 教会巡礼2日間 お1人 26,000円

キリシタン洞窟、青砂ヶ浦教会、頭ヶ島教会、他

【出発日】4月23.5月22.6月12.7月17.24.8月7.21

〈集合〉鯨瀬ターミナル待合室 11:15

※添乗員同行。往復、高速船利用。食事(朝1 昼1 夕1)付き。

お宿はグループ別に個室提供。＜夕食は・海の幸会席料理＞

旅行企画・実施 (株)長崎ツーリスト公社 TEL095-811-7100

FAX 095-826-7100 〒850-0852 長崎市万屋町1-13 内田屋ビル

全国旅行業協会会員 長崎県知事登録旅行業第2-144号

総合旅行業務取扱管理者 吉村 徳明 <最少催行人員・15名>

碎石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社
西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

石 碑
墓地工事
写真彫刻
墓地分譲

なが さき せき ちょう
長崎石彫

ヨセフ 岩永 博明
☎(095) 862-2469
長崎市梁川町 6-17 岩永ビル